

○現状分析 (学力調査等の結果を踏まえた内容別・観点別の分析表)

2年		平均正答率		分析
		本校	都	
数学		57.7	53.6	教科の内容については都平均より上回っている。「読み解く力」については都平均より6.6ポイント、上回り、「取り出す力」は1.4ポイント、「読み取る力」が5.5ポイント、「解決する力」が15.8ポイント上回っているが、「解決する力」の割合が低いことが課題である。応用問題や文章問題を解く演習時間を取り入れ、身に付いている「知識・理解」を活用しながら、「思考・判断・表現」解決する力を伸ばしていく。
観点別 正答率	関心・意欲	79.7	78.8	
	見方・考え方	45.5	43.5	
	技能	56.1	54.9	
	知識・理解	69.7	60.2	

3年		平均正答率			分析
		本校	都	全国	
数学		65	67	66.1	全国や東京都の平均正答率よりも下回る結果になった。「技能」についてはおおむね身に付いているが、「知識・理解」「数学的な見方・考え方」については不十分な単元が多い。資料の活用に関する問題では 都の平均正答率よりも0.7ポイント高いが、それ以外の問題では、都の平均正答率より2から3ポイント低くなっている。無解答率が高い問題は、正答率も低くなっている。習熟度別指導を活用し個人差に応じて指導をしていく。
観点別 正答率	関心・意欲				
	見方・考え方	46	49	46.9	
	技能	68.7	71.5	70.4	
	知識・理解	62.7	64.6	63.3	

○指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の定着を図るため、演習や確認の時間を増やす必要がある。 習熟度別指導で基礎コース、定着コース、発展コースに分け、それぞれの習熟度に応じて、授業内容を工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間ドリルの実施により、学習内容の定着を図る。 発展コースは、発展的な内容を多めにし、定着コースは、演習問題を多めにし、理解を深めていく。基礎コースは、演習時間を長めにし、確実な定着を図る。 数学的な見方や考え方を育成するため、ワークシートを工夫し、意欲的に取り組ませる。 ICTを用いて、視覚的な理解を促していく。グループ学習を取り入れ、教えあつて、学び合う数学的活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導が必要な生徒に対して、放課後や長期休業中に補充指導を行う。 毎時間の計算プリントや単元ごとの習熟度テストにより個別指導が必要な生徒に対して、放課後や長期休業中に補充指導を行う。毎時間、学んだところのワークやプリントを宿題とし、単元の定着を高める。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の定着を図るとともに、数学的な見方や考え方を深めていく必要がある。 習熟度別指導で基礎コース、定着コース、発展コースに分け、それぞれの習熟度に応じて、授業内容を工夫する必要がある。 数学的な技能の不足している生徒には、補充学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間ドリルや週1回の小テストの実施により、学習内容の定着を図る。 分野ごとに生徒のコース希望調査をとり、成績と照らし合わせて、コースを決定する。 発展コースは、発展的な内容を多めにし、定着コースは、演習問題を多めにし、理解を深めていく。基礎コースは、演習時間を長めにし、確実な定着を図る。 自分の考えを表現したり、発表したりする活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストの結果から、個別指導が必要な生徒に対して、放課後や長期休業中に補充指導を行う。 定期考査前にワーク、毎時間、学んだことを宿題とし、単元の定着を高める。 数学的な見方や考え方を育成するため、自分で考える、4人組で話し合う、全体で振り返る時間を取り、意欲的に取り組ませる。 定着・発展コースでは、授業課題が終わったら、発展的な学習(プリント)を行わせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の確実な定着を図るとともに、数学的な見方や考え方を深めていく必要がある。そのために、問題演習の機会を増やすことが課題である。 習熟度別指導で基礎コース、定着コース、発展コースに分け、それぞれの習熟度に応じて、授業内容を工夫する必要がある。 数学的な技能の不足している生徒には、補充学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワーク等による問題演習や週1回の小テストの実施により、学習内容の定着を図る。 教科書の課題が終わった後、類題のプリントを使い、演習を行う。 発展コースは、発展的な内容を多めにし、定着コースは、演習問題を多めにし、理解を深めていく。基礎コースは、演習時間を長めにし、確実な定着を図る。 自分の考えを表現したり、発表したりする活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストの結果から、個別指導が必要な生徒に対して、放課後や長期休業中に補充指導を行う。 定期考査前にワーク、授業課題プリントはほぼ毎時間宿題とし、単元の定着を高める。 定着・発展コースでは、各章の学習課題が終わった後、発展的な学習(プリント)を行わせる。